

No. 1

長岡造形大学校友会広報誌

Contents

| | |
|---------------------------|-----|
| 長岡造形大学校友会長のあいさつ | 1 |
| 長岡造形大学校友会愛称・ロゴデザインコンペ結果報告 | 2-3 |
| 長岡造形大学校友会 活動の様子 | |
| 第1回校友大会 | 4-5 |
| 長岡造形大学校友会 奨学金 | 6-7 |
| 長岡造形大学校友会 役員名簿 | 8 |
| 予算・収支報告 | 8 |
| 次号のお知らせ | 9 |

会長あいさつ

このたび、長岡造形大学校友会広報誌発行の運びになりました。

校友会としてはすでに様々な活動を行ってきております。詳細につきましては本誌でお伝えしておりますが、それら幹事会を中心となって行っております活動を、この広報誌を通じて会員の皆様をはじめ、大学関係者の方々に詳しくお伝えできることを大変うれしく思っております。今後はこの広報誌を通じて皆様との連携をさらに充実させ、実りある校友会にそして、母校のさらなる発展につなげて行きたいと考えております。

なお創刊にあたりましては、校友会ロゴの選定、紙面構成の決定など様々な面で大勢の方にご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

長岡造形大学校友会長 武見弘之



長岡造形大学校友会 愛称・ロゴデザインコンペ 結果

長岡造形大学校友会発足2年目を迎えた昨年11月、長岡造形大学校友会のシンボルおよび愛称を以下の通りに校友会員には郵便で、在学生には掲示で募集をいたしました。その結果、6の方から9点の作品の応募をいただきました。校友会広報部会及び豊口協学長、鎌田豊成教授

による作品審査の結果、高橋晴美さんの作品をロゴマークとして採用することになり、平成12年3月3日の幹事会で承認されました。採用作品と制作意図は次ページに掲載いたしました。応募していただきました皆さん、どうも有り難うございました。

長岡造形大学校友会 愛称・ロゴデザインコンペ 平成11年11月1日

| | | | |
|-------|---|-------|--|
| 目的・主旨 | 長岡造形大学校友会も今年で発足2年目を迎えました。そこで校友会会員のより一層の結束と意識の高揚をはかることを目的とし、長岡造形大学校友会の愛称と校友会シンボルとなる愛称を使用するロゴデザインを募集します。 | 審査員 | 但し、受賞者には会報タイトル、封筒などのアプリケーションデザインをやって頂き、制作料をお支払いします。 |
| 応募資格 | 長岡造形大学校友会会員（現在学生を含む）であること。 グループでの応募も可能です。 | 結果発表 | 審査の結果は校友会会報誌第1号にて発表。採用者には前もって連絡させて頂きます。 |
| 作品規格 | <ul style="list-style-type: none"> ●A4サイズの用紙にロゴデザインのみを入れて下さい。（ロゴの全体が入ること） ●愛称はロゴデザインを見て、分かるようにして下さい。（愛称のみ記入する欄などはありません。） ●ロゴデザイン以外の部分は白地にして下さい。 ●用紙の種類は自由。 ●ロゴデザインについては特に指定はありません。ただし、封筒などのアプリケーションにも使用させて顶きますので、再現性も考慮の上、デザインして下さい。 ●用紙の裏には必ず、氏名と天地を明記して下さい。 | 権利義務 | 出品作品に関する諸権利は、長岡造形大学校友会に帰属するものとします。 |
| 応募方法 | 受付期間内に同封の作品応募カードに記入の上、ロゴデザインの用紙とともに、長岡造形大学内 校友会事務局までお送り下さい。 | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ●採用作品は校友会出版物等に使用されますので、あらかじめ御了承下さい。またアプリケーション（会報タイトル・封筒など）のデザインについては制作者に依託します。（2000年2月～4月頃を予定） ●作品は未発表でオリジナルなものに限ります。 ●応募に関する諸経費はすべて応募者の負担になります。 ●採用作品が模倣と判断された場合、採用を取り消すことがあります。 ●採用作品がない場合は、愛称・ロゴデザインは校友会役員で決めさせて頂きます。 |
| 応募点数 | 制限しません。お一人何点でも応募頂けます。 | お問合せ先 | 長岡造形大学内 校友会事務局 〒940-2088 新潟県長岡市宮関町197 電話 0258-21-3351 |
| 受付期間 | 1999年11月1日(月)～2000年1月31日(月) 当日消印有効 | | |
| 賞 | 賞金はありません。 採用作品は長岡造形大学校友会のシンボルとして末永く使用されます。 | | |



制作者

高橋 晴美さん 産業デザイン学科3年（選考当時）



校友会 aluminia association の A をデザインしました。

NIR は長岡造形大学を支えるという思いです。

長岡造形大学校友会 第1回校友大会

長岡造形大学校友会発足2年目を迎えた昨年度、初めての校友大会を開催しました。今回は第1回ということで、より多くの会員の皆様に来ていただき、楽しんで帰っていただける様な場を目指して実施させていただきました。

日程を大学祭期間に合わせ、平成11年10月9日(土)長岡グランドホテルにて行われた会は、予想を上回る会員の皆様にお越しいただき、在学生や教職員の皆様も含め、良き再会の場となった様に感じました。

今回の内容は、会員の皆様の様々な体験や意見を共有できるよう、座卓形式の昼食から意見交換会を中心に、多くの意見のやりとりの場とすることことができました。

期日：平成11年10月9日(土) 11:00～13:30

会場：長岡グランドホテル

プログラム

開催あいさつ／武見弘之会長

乾杯／西浦定継さん（前・長岡造形大学環境デザイン学科助手）

～昼食・懇談会～

意見交換会 校友会会員による体験報告

講演／豊口協学長 「校友会に期待すること」

閉会あいさつ／江島祐輔さん（長岡造形大学大学院生）

意見交換会を終えて

今回は私が再就職して1年が経過したときの開催でした。恩師教授に見つけてもらって就いた以前の会社をたった半年で、それも相談も何もせずに辞めたこと、その経緯を、周囲に申し訳ない、我慢が足らなかったことだと負の経験として恥を感じていたときでした。私が意見交換会を企画し校友大会を積極的に受けたのは、自分の社会的な役割を再び確かめたかったのではないかと感じています。自分がやりたかったこと、すなわち意見交換会とそれをお聞きになった豊口学長の我々へのコメント講演が核心であり全てだと、校友大会を引き受けた時から企んでいました。

意見交換会とは、社会に出た卒業生が1年半経過してどう考えたか、自分はこれからどうやっていくのかということを語り合うという趣向で、回答者が司会者のインタビューに答えるものでした。この企画が絶対にやりたかった。

それでは、内容をいくつか抜粋します。

司会者質問

「お勤めは？充実感はありますか」

環境・保存コース出身Oくん（茅屋根葺き職人）

「今は修行ということです。世の中のさまざまな厳しいことを味わっていますね。具体的な担当業務は何にも無いですね、まあ丁稚みたいなもんで何にもやんなくても金は貰えるんですよ。あっはっはっは。」

司会者質問

「あなたの出身コースの中で、今後新設して欲しいものがありますか？」

産業・工芸コース出身Hくん（都内ディスプレイ会社勤務）

「ガラスやプラスチック工芸があつたらいいんじゃないでしょうか」

司会者質問

「あなたは彫金作家として出荷されているらしいけれど？」

在校生質問

「あのう…一ヶ月にどのくらいお金が入ってくるんですか…？」

産業・工芸彫金コース出身Kさん（デザイナー志望）

「そんな立派なものではありません、新潟市内と千葉のお店2箇所に置いて貢っています。（収入について）……あんまりきついこと聞かないで下さい。（笑）作ったものを売った分だけですね。2万円近いことがあつたり5千円だったりと、他にバイトもやっているんですけど、親に借金したりして足向けて眠れないです。」



司会者質問

「あなたは卒業してから再就学されたと聞いていますがどのようなところですか？」

環境・空間コース出身Nくん（専門学校生）

「ピアノ調律の専門学校です。もともと音楽は好きでした。弦楽器などは演奏者みずからがするものの、ピアノだけ調律師というのがあって、そんな疑問もあってやってみることにしました。2年後に卒業ですが、やっぱり調律師になりたいですね。具体的なあては無いですけれど。」

司会者質問

「卒業してから勤続している現在の会社、今後何年くらい続けてゆくつもりですか？」

産業・視覚コース出身Kくん（広告代理店勤務）

「これからですか？本当のことを言うとですね、ちょっとわかんないですね。ざっくばらんに申し上げますとですね、どこまでが残業でどこまでが正規勤務かっていうのが今良く分からぬ状態で働いているんです。」

司会者

「それは、残業手当が出るなら遅くまでやるんだけれどとかそういう話ですよね。」

Kくん

「そうです、やります。上司や周囲は自分をとても評価してくれているんでそういう面では恵まれているんですが。」

最後のKくんには、自分の今後の展望こそを皆に伝えたかったのに…と後で言われましたが、きちんと聞くことができませんでした。ごめんなさい。

全体を振り返ると、リラックスして本当のことを話してくれるよう、先に食事をとってもらったこと、学長に交換会の流れ全てを拝聴していただいたことと好条件が重なって、思うように進行できました。このことには感謝します。有難うございました。私の思いが強過ぎたこともあって私的な事情に沿って誘導的な内容になったことも否めません。直後の学長講演では冒頭、「司会者は社会に出てそうとう叩かれたらしく…自分は一体これからどうしようと考えているのか…その答えを必死になって探している、それを回答者に投げかけていたように思えるね。……とにかく彼はかなり社会で絞られたんだね…。」と、見透かされ、一括されましたね。

今では思います。やはり、逃げずに上司やお客様や家族、そして自分と闘って生きるべきです。闘うことなく辞めてしまった。これはいけなかった。だらしなかった。

こんなことを真面目に考えていたから、意見交換会は、緊張しながらも、精一杯自分をさらけ出してやりました。与えられた役割をまとうできたんじゃないでしょうか。

将来今回の内容の校友大会はないでしょう。精一杯やりました。私にはあれ以上のものはできなかつたと思います。

今後とも大学祭に合わせた日程に開催の方針ですので、世界中からデザインの先生をお招きして講演会を催すお手伝いなどが校友会員に喜んでもらえるのかなと考えます。なにしろ参加者の皆さんが、関わる人々とお互いに感謝を分かち合えるようなクライマックスのある内容にして欲しいと思いますが、どなたか熱意のある開催委員がいなければこれも成し得ないでしょう。

是非、ぐぐっとクル内容の校友大会を成し遂げる幹事が現れて欲しいものです。

文・校友大会部会長 太刀川正和



長岡造形大学校友会 奨学金

長岡造形大学校友会では事業計画に活力ある後輩を育成するために奨励・支援を目的に独自の奨学金制度の創設を検討してきました。そして平成11年度実施を目指しこれまでに2回の実施の運びとなりました。

この奨学金の特色は、従来の奨学金制度では対応しきれない内容に対しても目を向け、個人・団体を問わず応募できるようにしました。特に、これから行いたい活動に対しての「企画」を重視し、企画書の具体性、面接によって選考するものです。意欲と独創性に富んだ内容を期待しています。多いに学生生活に役立てて欲しいと思います。

文・奨学金部会長 竹樋協子

長岡造形大学校友会奨学金 結果報告

平成11年度 応募件数15件（内訳 個人7件、団体8件）
採用件数7件（内訳 個人3件、団体4件）

奨学金支給総額 130万円（団体で1件辞退のため6件に支給）

平成12年度 応募件数13件（内訳 個人3件、団体10件）
採用件数10件（内訳 個人2件、団体8件）

奨学金支給総額 190万円

活動報告

平成11年度採用

佐渡部

代表 前田考司

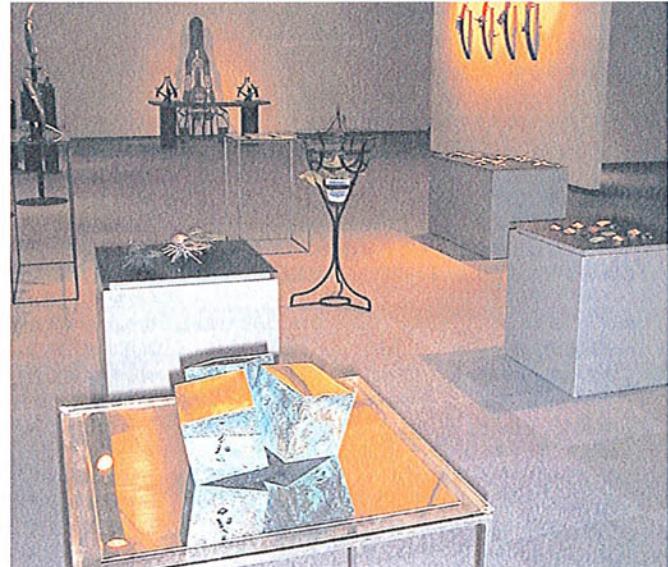
私たち佐渡部は、その名のとおり佐渡島を中心に活動する団体です。学生がかねてからお世話になっている佐渡島・小木町の方々のご協力をいただきながら、佐渡国小木民俗博物館での子ども向けワークショップの企画運営などを中心に行っています。何事も「いかに面白く、そして楽しく」ということを考えながら、全員が一丸となって取り組んでいます。

平成12年度採用

大学院生4人によるグループ展

代表 井垣知秀

新潟県立近代美術館2F県民ギャラリーにおいて「metal works of 4 styles」という作品発表を目的とした展示活動（4月20日～23日）を行いました。この展示会では卒業制作以降、大学院1年間で制作した作品、約25点を展示し、多くの人たちに観ていただく機会をもちました。この発表活動を通して、学外の方々の意見、感想を伺うことにより、今後の制作活動を続けていく上での勉強をすることを目的としました。



今年度の長岡造形大学校友会奨学生の募集は、次のとおりです。

長岡造形大学校友会奨学生 平成12年度奨学生募集要項

- はじめに**
長岡造形大学校友会は、活力ある後輩を育成するため、学生生活における学生個人や団体等の今後の有望な活動に対して、奨励・支援を目的として奨学生を給付します。意欲のある方はふるって応募してください。
- 1. 出願資格**
- 個人
長岡造形大学の学部・大学院に在学する者及び長岡造形大学校友会員で、他大学、他大学院等に在学する者とします。
 - 団体
長岡造形大学の学部・大学院に在学する者を中心とする団体をいい、学生団体として認可されているかどうかは問いません。2人以上で積極的に活動しようというものであれば団体として取扱います。
- 2. 出願**
出願は個人として1回、団体として1回を原則とします。
- 3. 奨学生の額**
給付する金額、総額200万円。
30万円、20万円、10万円のランク別とし、内容によって奨学生の額を決定します。
- 4. 採用人員**
総額に納まる人数とします。ただし、内容によっては該当者なし、あるいは総額に達しない場合もあります。
- 5. 出願書類、提出部数**
- 次の(1)～(4)は、5部(正本1部、副本4部・コピー可)提出してください。いずれも、A4判たてを原則とし、同サイズならば折り・綴じも可能です。
 - (5)は、2枚提出してください。
- (1) 奨学生出願・活動計画書(別紙様式)
・ 所属、学科、学年、学籍番号、氏名、連絡先
・ テーマ、活動の概要、活動の進め方
- 6. 予算計画(予想される材料費、旅費等経費の詳細な計画書、見積書を添付してください。)**
企画書
これから行いたい活動内容についての詳細を2,000字程度にまとめてください。
- 7. 実績・功績を証明するもの**
過去の実績(コンペ、スポーツ大会などの入賞歴)を確認できるもの(新聞等のコピーも可)を提出してください。
- 8. その他参考になるもの**
- 9. 及びその他の資料を添えて、翌年3月20日までに長岡造形大学校友会事務局に報告してください。**
- 10. その他**
- (1) 企画のテーマが、卒業研究・修了研究の内容そのものだけでは採用はしません。
 - (2) 出願及び実施報告書の際に提出されたものは、校友会資料として保存し返却しません。
 - (3) 奨学生の交付後、全く活動をしなかったと校友会幹事会が認めたときは、奨学生を返却していただきます。
 - (4) 奨学生を給付された個人・団体には、それらの活動に対し、長岡造形大学校友会からの「奨励・支援」があった旨の記載等についても、ご協力をお願いします。
- 6. 出願期間**
平成12年6月12日(月)～6月20日(火)
(17:00)。郵送の場合は、期限日消印有効
- 7. 資料請求・出願書類提出先**
〒940-2088
長岡造形大学学生課内
長岡造形大学校友会事務局
☎ 0258-21-3351(直通)
- 8. 選考方法・結果通知**
- (1) 第1次選考(書類)
第1次選考は、提出されたものに基づき書類選考を行い、6月30日(金)頃までにその結果をお知らせします。
 - (2) 第2次選考(面接)
第2次選考は、第1次選考を通った個人及び団体に対して、7月8日(土)に面接を行います。時間等については、別途お知らせします。
 - ・ 第2次選考(面接)に出席できない者の応募は、原則として認めません。
 - ・ 面接に係る費用(旅費、プレゼンテーション)は、個人負担とします。
 - ・ 第2次選考結果は、7月14日(金)頃までにお知らせします。
- 9. 実施報告書の提出義務**
給付を受けた個人及び団体は、研究の成果または経過等を実施報告書としてまとめ、写真

長岡造形大学校友会 役員名簿

予算・収支報告

平成12年度長岡造形大学校友会役員は次のとおりです。

| 役職 | 氏名 | 業務分担 |
|------|--------|------------|
| 会長 | 武見 弘之 | 統括 |
| 副会長 | 竹橋 協子 | 奨学会部会 部会長 |
| 副会長 | 佐藤 実 | 名簿部会 |
| 副会長 | 高橋 良仁 | 奨学会部会 |
| 幹事 | 岩井 敦子 | 奨学会部会 |
| 幹事 | 桑原 美奈子 | 名簿部会 |
| 幹事 | 小杉 忠太 | 広報部会 |
| 幹事 | 斎藤 寿満 | 名簿部会 部会長 |
| 幹事 | 坂井 正孝 | 広報部会 部会長 |
| 幹事 | 佐々木 亨 | 奨学会部会 |
| 幹事 | 佐藤 房俊 | 校友大会部会 |
| 幹事 | 関 健太郎 | 校友大会部会 |
| 幹事 | 太刀川 正和 | 校友大会部会 部会長 |
| 幹事 | 中山 一成 | 広報部会 |
| 幹事 | 中村 智美 | 奨学会部会 |
| 幹事 | 西澤 哉子 | 奨学会部会 |
| 幹事 | 前田 考司 | 校友大会部会 |
| 幹事 | 矢尾板 和宣 | 広報部会 |
| 会計監事 | 小林 聰美 | 校友大会部会 |
| 会計監事 | 鈴木 紗里香 | 広報部会 |

平成11年度収支決算、平成12年度予算は次のとおりです。

| 長岡造形大学校友会 | | 単位：円 | | |
|-----------|------------|------------|-------|------------|
| 平成11年度決算 | | 平成12年度予算 | | |
| 項目 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 |
| 会費 | 12,530,000 | 12,770,000 | ----- | 9,990,000 |
| 前年度繰越 | 2,304,313 | 2,304,313 | ----- | 1,695,422 |
| 預金利息 | 2,000 | 4,978 | ----- | 3,000 |
| 合計 | 14,836,313 | 15,079,291 | ----- | 11,688,422 |
| 支出 | | 支出 | | |
| 項目 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 |
| 管理費 | 1,400,000 | 1,260,665 | ----- | 3,050,000 |
| 会議費 | | 301,199 | ----- | 400,000 |
| 旅費 | | 489,340 | ----- | 800,000 |
| 事務通信費 | | 470,006 | ----- | |
| 郵便振替手数料 | | 120 | ----- | |
| 会員データ管理 | | | ----- | 1,600,000 |
| システム購入 | | | ----- | 800,000 |
| 保守管理 | | | ----- | 100,000 |
| 調査費用 | | | ----- | 500,000 |
| その他 | | | ----- | 200,000 |
| 事務費 | | | ----- | 250,000 |
| 封筒 | | | ----- | 150,000 |
| その他 | | | ----- | 100,000 |
| 事業費 | 6,870,000 | 2,007,702 | ----- | 2,720,000 |
| 校友大会 | | 677,857 | ----- | |
| 奨学会 | | 1,329,845 | ----- | 2,100,000 |
| 奨学金 | | | ----- | 2,000,000 |
| 打合せ旅費 | | | ----- | 100,000 |
| 機関紙発行 | | | ----- | 620,000 |
| 機関紙制作費 | | | ----- | 330,000 |
| 送料 | | | ----- | 90,000 |
| ロゴ制作費 | | | ----- | 100,000 |
| 打合せ旅費 | | | ----- | 100,000 |
| 積立金 | 5,000,000 | 10,000,000 | ----- | 4,500,000 |
| 予備費 | 1,566,313 | 115,502 | ----- | 1,418,422 |
| アルバム訂正 | | 115,502 | ----- | |
| 次年度繰越 | 0 | 1,695,422 | ----- | |
| 合計 | 14,836,313 | 15,079,291 | ----- | 11,688,422 |

長岡造形大学校友会 積立金特別会計

| 長岡造形大学校友会 積立金特別会計 | | 単位：円 | | |
|-------------------|------------|------------|-------|------------|
| 平成11年度決算 | | 平成12年度予算 | | |
| 項目 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 |
| 前年度繰越 | 22,000,000 | 22,000,000 | ----- | 32,043,200 |
| 一般会計から繰入 | 5,000,000 | 10,000,000 | ----- | 4,500,000 |
| 預金利息 | 0 | 43,200 | ----- | 45,000 |
| 合計 | 27,000,000 | 32,043,200 | ----- | 36,588,200 |
| 支出 | | 支出 | | |
| 項目 | 予算 | 決算 | 予算 | 予算 |
| 次年度繰越 | 27,000,000 | 32,043,200 | ----- | 36,588,200 |
| 合計 | 27,000,000 | 32,043,200 | ----- | 36,588,200 |

長岡造形大学校友会 会則

平成12年12月現在

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、長岡造形大学校友会と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、長岡造形大学と学術の発展に寄与することを目的とする。
(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 会報、会員名簿等の発行

(2) 校友大会、講演会、研究会等の開催

(3) 在学生への援助、協力

(4) その他本会の目的達成のために必要な事業

(本部・事務)

第4条 本会は、本部を長岡造形大学内におく。

2 本会の事務は、会長の命を受け校友会本部が行う。
(支部)

第5条 必要に応じ、支部を設置することができる。

第2章 会 員

(会員)

第6条 本会は、次の会員をもって組織する。

正会員 長岡造形大学学部卒業生及び大学院修了者。

準会員 長岡造形大学に学籍を置いた者で、正会員5人以上の推薦のあった者。

特別会員 長岡造形大学教職員及び本学関係者で幹事会が決定した者（ただし、卒業・修了教職員は除く）。

(会費)

第7条 会員は、本会の事業に要する経費として、所定の会費を納入するものとする。

2 会費の納入方法等については、別に定める。

3 正会員は、納入した会費等を、返還請求することができない。

(届出)

第8条 会員は、その住所、氏名等を変更した時は、速やかに届け出るものとする。

(表彰)

第9条 本会に特に功労のあった会員は、幹事会の議をもってこれを表彰することができる。

(除名)

第10条 本会の名誉を著しく損なう行為のあった会員は、幹事会の議をもってこれを除名することができる。

第3章 役 員

(役員の構成)

第11条 本会に、次の役員をおく。

(1) 会長 1人

(2) 副会長 若干人

(3) 幹 事 若干人

(4) 会計監事 2人 会計監事は、会長、副会長、幹事を兼ねることはできない。

(役員の職務)

第12条 役員の職務は、次のとおりとする。

(1) 会長は、会務を統括し、本会を代表する。

(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるいは、副会長がその職務を代行する。代行をする順位は、卒業の年度順による。

(3) 幹事は、幹事会を構成し、会務を執行する。

(4) 会計監事は、本会の会計、会務執行状況及び財産の状態を監査する。

(役員の選任方法)

第13条 役員は、次の方法により選任する。

(1) 会長は、幹事会の互選により、幹事より選出する。

(2) 副会長は、会長が幹事会の承認を得て、幹事より選任する。

(3) 幹事は、会長が幹事会の承認を得て、正会員より選任する。

(4) 会計監事は、会長が幹事会の承認を得て、会員より選任する。

(役員の任期)

第14条 役員の任期は3年とし、再選を妨げない。ただし、後任者が決定するまでは、引き続きその職務を行うものとする。

2 换算の役員の任期は、前任者の残任期間とする。
(役員の補充)

第15条 役員に欠員を生じたときは、第13条の規定を準用して補充する。ただし、次の改選期までこれを延期することができる。

第4章 会 議

(会議の種類)

第16条 本会の会議は、校友大会、幹事会の2種類とする。
(校友大会)

第17条 校友大会は、全ての会員をもって構成し、会長が年1回招集して会務を報告する。

2 会長は、必要に応じ臨時に校友大会を招集することができる。
(幹事会)

第18条 幹事会は、会長、副会長、幹事及び会計監事で構成する。

2 幹事会は、必要に応じ隨時開催するものとし、会長がこれを招集する。

3 会長または構成員の過半数以上の者が必要と認められたときは、会長が臨時に幹事会を招集する。

(幹事会の審議・執行事項)

第19条 幹事会は、次の事項を審議し、これを執行する。

(1) 本会運営のための基本方針

(2) 会則、規則、その他の規定の制定、変更に関する事項

(3) 事業計画及び収支予算書

(4) 事業報告書、収支予算書及び財産目録

(5) 運営資産積立金に関する事項

(6) 会長、幹事、会計監事の選任

(7) その他本会の運営に必要な事項

(幹事会の議事)

第20条 幹事会は、構成員の3分の2の出席により議事を行うことができる。ただし、当該議事について、書面をもってあらかじめ意思表示をした者は、出席したものとみなすが、構成員の過半数は、委任状によらない出席を必要とする。

2 幹事会の議長は会長がこれに任せ、会長に事故あるときには副会長が代行する。

3 幹事会の議事は過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。

4 幹事会の議事については、議事録を作り、議長及び出席幹事1人がこれに記名捺印してこの会に保存する。

第5章 会 計

(会計年度)

第21条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、3月31日に終わる。

(経費)

第22条 本会の運営のための経費は、会費、寄付金及び資産から生ずる果実等の収入をもって支弁する。

(運営資産積立金)

第23条 每会計年度の収入に収入超過を生じたときは、これを運営資産積立金に線入れ、支出超過を生じたときは、運営資産積立金より補填する。

(予算)

第24条 本会の毎会計年度の予算は、会長がこれを編成し、幹事会の承認を得なければならない。
(決算)

第25条 本会の決算は、毎会計年度終了後会長がこれを作成し、会計監事の監査の意見を添えて幹事会に報告し、承認を得なければならない。

第6章 雜 則

(その他)

第26条 この会則に定めるもののほか、校友会に関する必要な事項は、幹事会の議を経て別に定める。

附 則

1 この会則は、平成10年3月24日から施行する。

2 第13条により選任された役員の任期は、第14条の規定にかかわらず、平成13年4月1日までとする。

3 本会の終身会費は、40,000円とし、予納することができる。ただし、平成9年度及び平成10年度卒業生については、30,000円とする。

次号のお知らせ

次号からの内容は、次のとおり企画しています。

●卒業生の近況報告

- 卒業生からのこんな情報をお待ちしています。
 - ・今、どんな事に熱中しているのか？
 - ・お仕事情報
- など

●在校生から卒業生へ

- 在校生からのこんな情報お待ちしています。
 - ・学校での出来事
 - ・学外での活動
- など

●掲示板

- ・個展情報
- ・個人の情報発信
- など

みなさまからの情報提供お待ちしています。

編集後記

予定では3月発行でしたが、ずれにずれこんでこのたび発行となりました。記事の中で古いものもありますが、ご了承下さい。これからはタイムリーな発行をめざそうと思っています。



940-2088
新潟県長岡市宮関町 197 番地
長岡造形大学内
tel. 0258-21-3311
fax. 0258-21-3312